



裏金の超甘処分、内閣官房機密費にもメスを

少なくとも数人は議員辞職、裏金は雑所得として脱税申請、脱税を自首して一部の御仁は検察送りかと思つたら、超甘い処分。

二、三千万円から数百万円の裏金でも「政治活動に使つた」と云うだけで良いのか？内容を明らかにしなければ誰も納得しない。

中小企業、個人事業主等の確定申告では小額でも領収書が必要だし、自分の為に使つたのでは無い事を厳しく追求される。労働者は少ない収入から所得税

住民税、年金、健保、介護保険料と天引き。余りにも不公平。

官房機密費は？

パーティ券の裏金だが、内閣官房機密費はもっと問題だ。前首相の菅氏は安倍政権時、

官房長官として一日当たり三百万円、年間十億の官房機密費を使った。何に使つたか報告の義務もなければ会計検査院の検査も無い。

野中広務氏が官房長官だった時、首相、国会対策委員長、野党議員、政治評論家等に配っていたことを二〇一〇年、共産党塩川議員が指摘している。つまり

一部の政治家や評論家は官房機密費からの金で、自公の意に沿い政見や評論を曲げていた。

今、自民の各議員の事務所では公表されたパーティ券関係の裏金だけを表に移す作業で大忙しだろう。官房機密費からの金は裏だから表に出せない。一部は議員がポケットに？

そうなると議員は雑所得として申告？脱税の罪が問われる？
あなたはどう思われますか？

暗雲かかる大阪・関西万博会場

大阪市咲洲区 さきしまコスモタワーから
二〇二四年三月



大阪市咲洲区庁舎には地上二五二mを誇る「さきしまコスモタワー」展望台がある。そこから、工事中の大阪万博会場が見える。内径六一五mのリング状の大屋根を建設中だ。

大量の木材を使う工事。木材手配の商社や建設業者は潤う。しかし、何の為に必要なのか？設計を変えて木材使用量を減らし、能登半島地震の復興の為に回したらどうだろう。

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」だ。そこに厄介な暗雲がかかりつつある。

国際的な批判を浴びながら現在ホロコースト実行中のイスラエルの参加だ。これは「ヒトラー率いるナチストイツ」が参加するような物。テーマからの悲鳴が聞こえる。

